

2023年度

予算の お知らせ

収入支出予算額 3,300百万円
被保険者1人当たり 897千円(89万6,621円)

2023年2月21日、第27回組合会が開催され、2023年度予算と保健事業計画が承認されました。保険給付費と納付金の支出増が見込まれ、収入は大幅な増加が見込めず、別途積立金を200百万円繰り入れ、収支は25百万円の黒字予算となりました。

主な収入

収入の91.2%は皆様方と事業主からの保険料です。2023年度の予算総額は3,300百万円となりました。

●保険料収入

皆様方と事業主からの保険料収入は、昨年度同様、保険料率81.0%で算出いたしました。保険料収入は前年度決算見込より253百万円減の2,958百万円といたしました。

主な支出

支出全体では2022年度決算見込に対し317百万円増となりました。保険給付費と高齢者医療制度への各種納付金で支出の約80%を占めます。

●保険給付費

皆様がお医者さんにかかったときの自己負担以外の医療費は、アボット健康保険組合の保険給付費から支払われています。また、出産したときや傷病時の各種手当金も保険給付費に含まれます。一人当たりの保険給付費は2020年度はコロナ禍で減少しましたが、その後は右肩上がりに増加しており、2023年度は前年度予算より164百万円増の1,190百万円といたしました。一人当たりでは324千円

(323,530円)となります。

●各種納付金

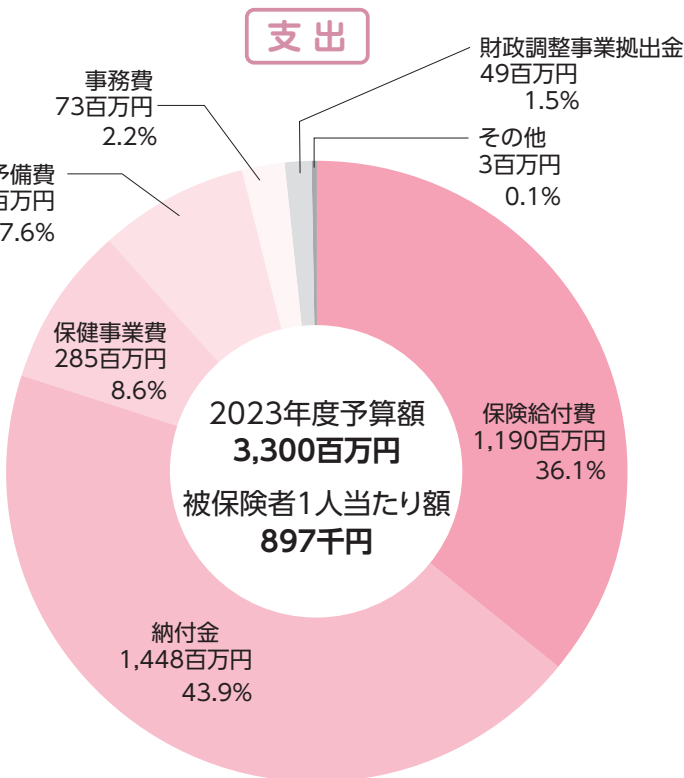
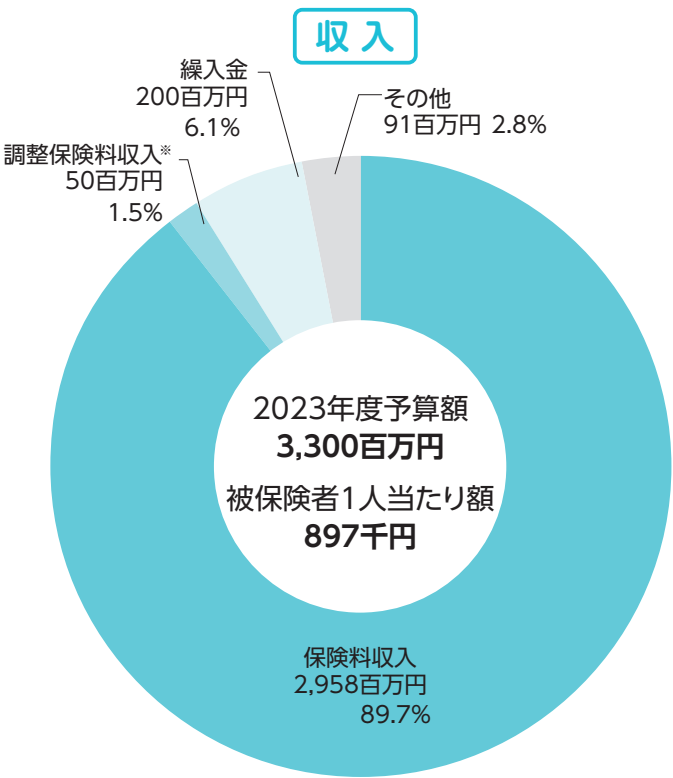
65歳以上の人の多くは国民健康保険に加入していますが、その医療費の多くは、健康保険組合を通じて、わたしたち現役世代の保険料から支払われています。健康保険組合では納付金として、主に前期高齢者納付金（65～74歳の医療費）と後期高齢者支援金（75歳以上の医療費）を国に納めています。

2023年度は納付金全体で前年度決算見込より112百万円増の1,448百万円となりました。2022年度は概算で支払った納付金の精算により一時的に減少しましたが、団塊の世代が後期高齢者へと移行している現在、高齢者医療費の増加は必須であり、アボット健保の負担は今後ますます重くなるものと推測されます。

●保健事業費

健診など、皆様の健康づくりのための支出です。2023年度は特定健診・特定保健指導、重症化予防事業などをさらに推進するとともに、被扶養者健診受診促進キャンペーンの継続、新規事業として「無料歯科健診」、「小児科オンライン・産婦人科オンライン」（健康相談ダイヤル24は廃止）を導入します(保健事業については4～7ページ

2023年度予算概要（一般勘定）



※調整保険料は、財政が窮迫している他の健保組合のために健康保険組合連合会に拠出している保険料であり、アボット健保の運営に使えるのは一般保険料のみです。

予算の 基礎数値	被保険者数	3,680人
	被扶養者数	4,984人
	平均標準報酬月額	742,000円
	扶養率	1.27

参照)。また、「健診のてびき」の英語版、「後発医薬品使用促進のための差額通知」なども実施する予定です。

保健事業費全体としては、前年度決算見込みより2百万円増の285百万円支出します。一人当たりでは7千円増の77.5千円(77,493円)となります。

2023年度一般保険料率ならびに調整保険料率

※()内は2022年度 (‰)

	一般保険料率	調整保険料率	保険料率
事業主	39.835 (39.715)	0.665 (0.785)	40.500 (40.500)
被保険者	39.835 (39.715)	0.665 (0.785)	40.500 (40.500)
合計	79.670 (79.430)	1.330 (1.570)	81.000 (81.000)

介護保険

介護保険制度では、健康保険組合が国に代わって皆様（40歳以上）から保険料を徴収して国に納付しています。2022年度決算見込の収支は2021年度に保険料率を17/1,000から20/1,000へ変更した影響もあり、約155百万円の黒字となる見込みです。

2023年度予算は、収入合計531百万円、支出合計478百万円、予備費53百万円の黒字予算となりました。ただ、介護納付金は前年度予算に比べ、54百万円増の478百万円となっており、決して楽観視できる状況ではありません。しかし、介護勘定の準備金保有率が高水準であることから、2024年度も2023年度程度の金額であれば、2024年度は介護保険料率の引き下げも検討していきます。

任意継続被保険者の標準報酬月額について

任意継続被保険者の標準報酬月額決定の基礎とする
2023年度平均標準報酬月額は、750,000円です。
適用年月日：2023年4月1日～2024年3月31日

2023年度

アボット健保の 主な保健事業

あなたとあなたのご家族のために、
ぜひご活用ください



健康診断

被保険者

被扶養者

※任意継続の方含む

基本健診

種別	対象
一般健診	35歳未満の被保険者及び被扶養者
生活習慣病健診	35歳以上の被保険者
家族健診	35歳以上の被扶養者
人間ドック（日帰り・1泊）	35歳以上の被保険者及び被扶養者
特定健診	40歳以上の被保険者及び被扶養者

予約方法

アボット健保の健診予約システムから「申込登録」してください。電話予約とインターネット予約があります。電話予約の場合でも健診予約システムへの申込登録が必要です。

健診費用について

●基本健診（人間ドック以外）

…自己負担はありません

●人間ドック…日帰り5,000円、一泊10,000円の自己負担があります。

いずれも補助限度額を超えた分は自己負担（カフェテリアポイントが利用可）となります。

詳細は「健保ガイド」または
ホームページをご覧ください。

オプション検査 ※30歳以上の被保険者・被扶養者

- | | |
|---|-------------------------|
| ●婦人科検診（乳がん、子宮がん）
※子宮頸がん検診は20歳から受けられます。 | ●大腸がん検査 |
| ●胃部検査 | ●ハート検診 |
| ●腹部超音波検査 | ●アミノインデックス検査 |
| ●骨粗しょう症検査 | ●脳ドック
(50歳以上・5歳刻み年齢) |
| ●肝炎ウイルス検査 | ●BNP検査 |
| ●前立腺がん検査 | ●コロナウイルス抗体検査 |

健診について
お問い合わせ

(株) バリューHRカスタマーサービス
TEL 0570-075-703 (平日9:30~18:00)

E-mail : kensin-abt@apap.jp



女性被保険者・女性被扶養者を対象に実施します。
お住まいの近くにあるホテル、公的会館等で約
2,200回開催されます。希望の施設で受けるには、
早めの予約がおすすめです。

詳細は同封の「巡回レディース健康診断のご案内」
をご覧ください。
※対象者のいない被保険者には同封しておりません。



巡回レディース健診に
についてのお問い合わせ

一般社団法人 全国健康増進協議会

TEL 03-5803-3377 (平日9:00~16:00) ※12:00~13:00除く FAX 03-5803-3370

被扶養者健診受診促進キャンペーン

被保険者

20歳以上の被扶養者の健診受診率向上のため、対象となる被扶養者が基本
健診を受診したら、被保険者にカフェテリアポイント3,000Pを付与するキャン
ペーンを今年も実施します。

※「一般健診」「家族健診」「人間ドック」のいずれかを受けた場合となります。オプション検診のみの場合は付与されません。
※ポイントの付与は、健診受診から3~4ヵ月後になります。



健診結果見える化チャート

被保険者

被保険者一人ひとりの健診データを、チャート化されたわかりやすい形で見
ることができるサービスです。健診結果をもとに、生活習慣病のリスク度を5段
階で判定します。

トップページ

健診結果管理システム

各健診MYページ

■健診MYページでわかること

- ①生活習慣病のリスク度(5段階)
- ②健保全体におけるリスク分布
- ③健診機関の診断コメント
- ④項目ごとの健康状態を色別で表示
【肥満・血圧・脂質・糖代謝・肝機能・腎機能】
- ⑤項目ごとのリスク分布・経年比較



遠隔面談による特定保健指導

メタボリスクのある

被保険者

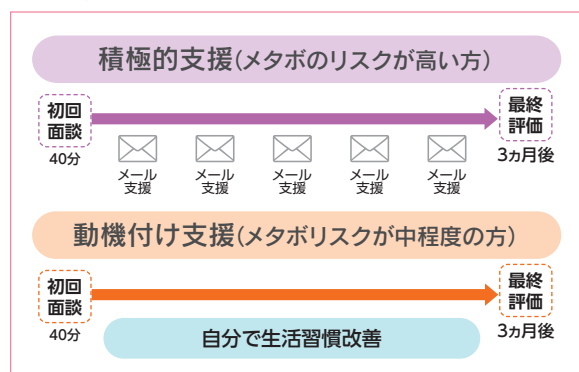
被扶養者

健診後、メタボリックシンドロームおよび予備群となった方へ特定保健指導を
実施しています。皆さんがより受けやすいように、スマホやタブレット、PCで受
けられる遠隔面談によるプログラムを導入しています。3ヵ月間の短期集中で、
健康的な生活習慣を身につけることができます。メールでご案内を受け取った
方は、ぜひチャレンジしてください。

■支援の流れ

- ① メールにて保健指導のご案内
※40歳以上の方対象
- ② メール記載のWEBサイトから予約
- ③ 遠隔面談の実施(3ヵ月)

■支援例



実施する場合の注意点

- 自宅で実施する際は、Wi-Fi環境で実施してください。
※Wi-Fi環境でない場合はポケット通信費用がかかります。(1回の面談で使用するポケットは200MB程度です。)
- ビデオ通話での面談なので自宅等の機密の保てる場所でお受けください。





保健師によるサポートプラン

治療が必要な

被保険者

被扶養者

健診後、治療が必要な状態なのに、医療機関を受診していない方へ保健師によるサポート事業を実施しています。現在の状況をアンケートにて確認させていただき、サポートが必要な方には、保健師が一人ひとりに合ったフォローを行います。ご案内を受け取った方は、ぜひご活用ください。

■対象となる方の数値

	検査項目	基準値	対象となる方の数値
血糖 (%)	HbA1c(NGSP)	～5.5	7.0～
血圧 (mmHg)	収縮期血圧	～129	180～
	拡張期血圧	～84	110～



■支援の流れ

- 1 ご案内とアンケートを送付
- 2 1ヵ月後、保健師からお手紙を送付 (お電話する日程のご確認)
- 3 1～2週間後、受診状況等について保健師からお電話
- 4 2ヵ月後、現在の状況について保健師からお電話



脂質の検査項目でリスクが高いと判断された方へは受診のご案内をお送りいたします。対象となられた方はお早めに医療機関を受診してください。

糖尿病の重症化予防対策!

被保険者

被扶養者

2023年度もアボットジャパン社製の持続式血糖測定器を使った糖尿病の重症化予防施策を実施いたします。健診結果により対象となられる方には、別途、委託会社よりご連絡させていただきますので、糖尿病の重症化予防施策をご利用いただけますようお願いいたします。

対象となった方には
ご連絡します



カフェテリアプラン

被保険者

4月に**30,000ポイント**付与されます。ポイントを使って健診費用、家庭用常備薬、スポーツクラブ、旅行・レジャー、生活支援等さまざまなサービスが利用できます。カフェテリアポイントの有効期限は2年間(下記参照)です。※あなたの保有ポイントは、健保ホームページで確認できます。

サイトデザインと
カテゴリを一新!!
スマホ対応版へ
リニューアルしました!



人気があるのは毎年、医薬品や健康関連の商品ですが、「メディカルチェック」(健診費用)への利用もおすすめです。基本健診の補助限度額を超えた支払いはもちろん、脳ドック、HPVセルフチェックなどさまざまなサービスに利用できます。ぜひ、アボット健保ホームページトップの「カフェテリアプラン」のバナーからチェックしてみてください。

■有効期限について

2022年度付与分



2024年3月31日まで有効

2023年度付与分



2025年3月31日まで有効

毎年、多くの方がポイントを失効しています。**忘れずに有効期限内にポイントを使用してください。**

カフェテリアプランについて
お問い合わせ

(株) バリューHRカスタマーサービス

TEL 0570-075-708 (平日9:30～18:00)

E-mail : vc-support@apap.jp

New!

小児科・産婦人科オンライン

被保険者

被扶養者

妊娠や出産、お子様の健康について、スマホで産婦人科医（または助産師）・小児科医に相談できます。相談できる時間帯（平日18:00～22:00）が、医療機関の診療時間外なので、お子さんの具合が悪いときなどに安心です。無料ですので、ぜひご活用ください。

利用できる時間
平日

18:00～22:00

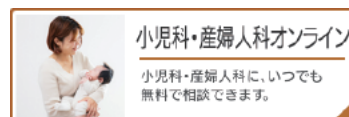


■利用方法

- 1 アボット健保ホームページトップの「小児科・産婦人科オンライン」のバナーをクリック
- 2 「小児科・産婦人科オンライン」サイトで、会員登録▶登録に必要な合言葉『おんらいん』
- 3 登録後、「さっそく相談する」から相談

😊 LINE・電話での相談が可能です。

😊 LINEはメッセージチャット、音声通話、動画通話に対応しています。

LINEで相談
できるから
便利ね！

New!

無料歯科健診

被保険者

被扶養者

全国の提携歯科医院で歯科健診を無料で受けられます。お口の健康は全身の健康にも影響します。歯科医院でプロのケアを受けて、お口の状態を健康に保ちましょう。



■利用方法

- 1 アボット健保ホームページトップの「無料歯科健診」のバナーをクリック
- 2 歯科医院検索後、「歯科健診お申し込み」より申し込み ※申し込み後、歯科健診センターより予約日の連絡が届きます。
- 3 予約した日時に歯科医院を受診



その他の事業

被保険者

被扶養者

①電話によるこころの相談窓口

☎ 0120-783-744

メールやLINEでも相談できます。
詳しくは12ページをご覧ください。

②インフルエンザ予防接種費用補助

インフルエンザ予防接種費用として1人当たり3,500円を上限に補助します（被保険者・被扶養者）。

③育児誌の無料配布

出産育児一時金を支給した方に、育児誌を1年間無料配布します。

④医療費明細

実際の医療費を健保のホームページから確認できます。

⑤「アボット健保ガイド」発行

ご家庭に保管してご活用ください。

⑥「健康づくり応援メルマガ」発行

健康づくりをサポートするメルマガを配信します。

